

科目名		専門演習		コード		1060502			
授業形態		履修形態		単位数		年次		開講期	
演習		必修		2		3年		前期	
担当者名		安溪 遊地							
授業概要 日本語でわかりやすい文章を書くこととフィールドワーク、文献の引用の方法について地域の方のご援助もうけながら丁寧に指導します。									
到達目標 人が救われるなら学問で救われる。ほろびるならば学問でほろびる(鳥からのことづて)。小さな声に耳を傾け、弱い者たちのまなざしから、人間と地域のもうひとつの未来を構想してみましょう。				成績評価の方法と基準 たとえ分量的にはちょっとでも、自分の五感を生かして手に入れた材料を料理してわかりやすい日本語の文章にする能力。自主性と積極性を高く評価します。					
学習目標				評価項目と割合					
具体的学習目標		配点比率	出席及び授業態度	小テスト	自主学習態度	レポート	プレゼンテーション	学期末試験	その他
(1) 自由なブレインストーミングで自分の興味を発見		25	25	0	0	0	0	0	0
(2) 自分の興味と地域・テーマを結びつける		25	25	0	0	0	0	0	0
(3) わかりやすい日本語でレポートがかける		25	0	0	0	25	0	0	0
(4) 引用・著作権・肖像権について実践的に理解する		25	0	0	0	25	0	0	0
授業の項目と内容				自主学習課題					
<p>地域に学び地域を愛し地域をつくる あなたがこだわってみたい地域はありませんか。例えばあなたがふるさと、例えば山口県、例えば.....この演習では、地域密着型のフィールドワークを通して、地域の魅力を再発見していきます。地域のかかえる問題を深く学んで、その地域の人と自然のきづな、人と人のきづなをいきいきさせていくような提案型の研究が主流です。練習問題ではないホンモノの学問をともにめざしませんか。文化人類学という既成の学問の枠にこだわらず越境する学問のワクワクを感じましょう。演習の本当の場所をキャンパスを飛び出した地域にもとめ、地元の人たちを先生として学びましょう。軽いフットワークで地域にでかけられる方を歓迎します。これまでゼミとして出かけたたり、お話を聞いたりしたのは、日本海漁師、榎野川の漁師さん、上関原発予定地の住民の方々、鳥取県大山のふもと、種子島、台北市周辺などでした。</p> <p>これまでのこの演習を受けた人たちと現在受けている人たちの主な進路。フリーター、一般企業の事務と営業、旅館業、受験教材販売、地域の新聞、ふるさとの町の公務員、鹿児島県の国語教員、鳥取県の英語教員(臨探)、長崎の公立大学の司書(3年間の期限付き採用)、韓国の大学院、新潟県の英語教員、大手旅行代理店、山口の金融機関など。なお、これまで、韓国のキョンナム大学校に1年間交換留学した学生1人、ソウル1年間語学留学、北京の語学留学、センター大交換留学が各1名、NZで1年間日本語を教えた人が5人。</p>				<p>自分が何をしたいのか、何をしたくないのか、正直に自分と向き合う練習をしてみましょう。 次にそれを親しい人に聞いてもらい、またその人の望みも聞いてみましょう。</p> <p>自分がこだわりをもつ地域やテーマをいくつもあげて、その関連を図に書くなどしてみましょう。</p> <p>日本語を書く練習をつみましょう。 メールなどで送ってくればいつでも添削をさせていただきます。</p> <p>学んでどうなる? これまでのこの演習を入口としてまとまれた卒論のテーマの例。山口市仁保の村おこし/宇部市のグリーンツーリズム/岩国市錦川河口に生きる/浜田市の漁港の祭りと町おこし/鳥取淀江町稲吉生活誌/種子島と屋久島へのUターン/山口市阿武町の祭りと村おこし/阿武町の南日本海漁師の生き様/長崎みかん農家の意地/地域密着型音楽インディーズの魅力/山口在住のヒパクシャの声/北九州発アイヌ民族とともに/日韓児童文学の未来/日本に生まれて良かった!(山口県の在日からの視点)/漢字という抑圧/中国地方における小規模分散型エネルギーの可能性/日本のゴミ問題/徳島ならではの教育を求めて/山口の自然遊びと環境教育/大地に生きる女達/米屋の未来/小さな呉服屋の大きな冒険/新ストープのある暮らし/コミュニティシネマの可能性/徳島での生活誌/象牙は象にしか似合わない/私は散歩でできている/徳地に桃源郷を求めて/プチ整形ブーム/和太鼓の魅力/若狭の風土など多彩です。交流およびワークショップ等としては、徳地だけでなく、ゼミとしてスペイン・ナバラ州立大からの留学生との交流の機会もあるでしょう。過去の卒論はすべて、文集として印刷してあります。貸し出しもできますので読んでみてください。</p>					
テキスト、参考書、教材				履修条件及び備考(レポート評価基準・その他の具体的評価内容基準等)					

<p>読んでおいてほしい本 安溪遊地編『やまぐちは日本一 山・川・海のことづく』『続やまぐちは日本一 女性たちの挑戦』弦書房(売店にあります)</p>	<p>必修の 、 は卒論につながるゼミです。フィールドワークの方法から論文の書き方で指導します。地域で何かしてみたい、という気持ちのある人を歓迎します。選択の 、 は学生の希望により、県立大学が提携している徳地地域の「徳地づくり達人塾」にサポーターとして参加することができます(週末の活動が主です)。</p>
<p>受講生へのメッセージ</p>	
<p>ご参考までに就職のことなど 3年ともなると就職のことが気になりますね。でもバイトや就職活動などにあまりふりまわされず、あなたのやる気と元気が演習を通して地域の文化や環境の元気な再生につながるようになれば、その中から卒業後の進路の新しい可能性も見えてくるのではないのでしょうか。</p>	